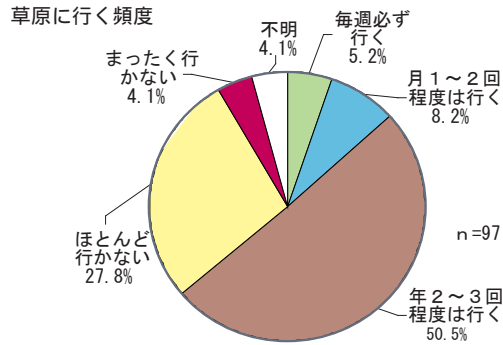


■ 草原との関わりについて

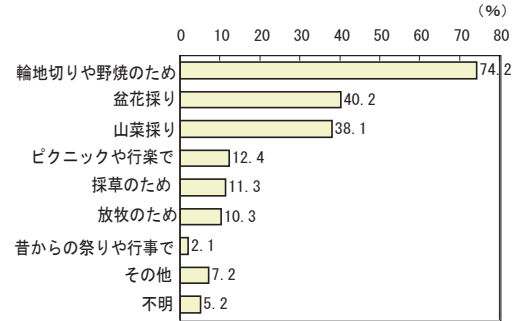
牧野組合員

○ 野焼き・輪地切りには大半の組合員が参加、
しかし草原へ行く頻度は低い



○ 草原とのかかわりは
必ずしも農業・畜産に限らない

草原に行く主な目的 (3項目以内選択)

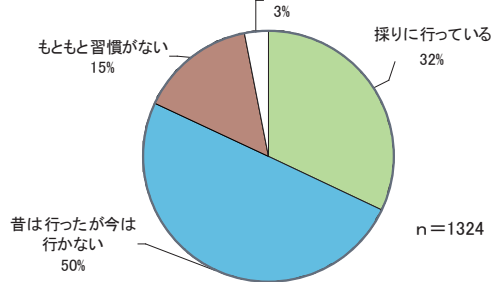


<参考> 盆花採りに関するアンケート調査結果より

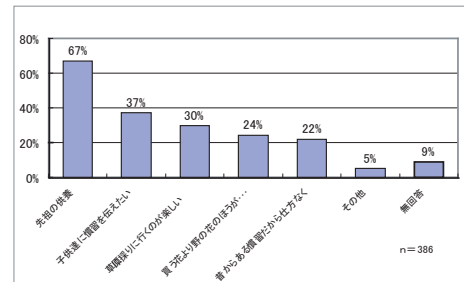
阿蘇郡内の全牧野組合175を対象に往復ハガキでアンケートを行い、その上で現在も盆花採りの習慣があるはずとの回答があった組合120を抽出、その組合員全員4,552人を対象に2字アンケートを実施した。(回収数は1,324、回収率29%)

* 盆花採り：8月、月遅れのお盆の時期に、お墓に供える花(盆花)を草原から採取する慣習

盆花採りの習慣の有無



これからも盆花を草原へ採りに行きたい理由



■ 調査概要

観光客を対象とした調査

牧野組合員を対象とした調査

調査方法 回収状況	観光客を対象とした調査	牧野組合員を対象とした調査
	宿泊施設 (12施設) ・実施時期：平成13年8月中旬～下旬 ・配布数：3,900票 ・有効票数：1,424票 (36.5%) 立ち寄り施設 (5施設) ・実施時期：平成13年9月中旬～下旬 ・配布数：1,500票 ・有効回収票数：864票 (57.6%)	・実施時期：平成13年10月～11月 ・配布数：187票 (木落牧野組合全牧野組合員) ・有効回収票数：97票 (51.9%)
	性別はほぼ半々、若年層から高齢者まで満遍なく幅広い世代の回答が得られた。 居住地は熊本県内、福岡県内、その他九州、九州以外に4分される。 今回はじめてという人は少なく、2回以上来訪のリピーターが圧倒的に多い。 立ち寄り施設でも宿泊客の来訪が比較的多かったため、日帰り客のウェイトが低い。	性別：男性79%、女性19% 年齢：最高齢者79歳、最若年者34歳 平均年齢54歳 畜産・農業とのかかわり： ・有畜農家 (放牧牛あり) 13.4% ・有畜農家 (放牧牛なし) 6.2% ・無畜農家 (兼業を含む) 68.0%